

1 教育目標

教育目標「心身ともにたくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることのできる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

- 実施時期 平成31年2月6日～12日
- 対象 保護者、全職員

\*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 全く思わない 各問にAからDより1つ選んで回答した人数の合計を示している。  
 \*園児数 48名 回収数 41 保護者回収率 85.4%

	項目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	37	3	1	0	3	4	0	0	・一人一人の子どもに合った環境の構成や教師の援助を心掛けていることで、子どもたちは安心・安定して通園してくる姿が多く見られた。 ・昨年度と同じ研究テーマ「人のかかわりの中で自己発揮する子どもを育てる」で今年度も取り組んできたが、⑤「わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている」の項目で「少し思う」「あまり思わない」と回答した割合が高い。教師自身は自己発揮できるよう
	②わが子は、学級に気の合う友達がいる	32	6	2	1	2	5	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている。	34	7	0	0	2	5	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	32	8	1	0	0	7	0	0	

保育内容・研究推進	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	20	17	4	0	3	4	0	0	に環境を構成したり、援助したりしてきたが、保護者には十分育っていると感じられていないことを実感する。
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	23	15	3	0	2	3	2	0	*現在も一人遊びを好む子どももいる。教師としては様子を見ながら友達とかかわる機会をつくっているが、保護者には心配である様子が窺える。今後、子どもの様子を丁寧に伝えながら、保護者が安心できるようにしていきたい。 *項目⑤⑥については昨年度と同様、他と比較すると評価が低めなので、今後も園内で課題点を明確にし、重点的に取り組んでいきたい。
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	35	6	0	0	6	1	0	0	・川西北小学校、川西北保育所との交流では昨年度の反省を生かし、内容を検討し、交流を行った。
	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	25	15	1	0	4	3	0	0	・参観前日に参観のしおりを配布し、教師の願いや保護者に見ていただきたいポイントを知らせてきた。しかし、保育参観で子どもの様子や育ちを感じてもらえていないことが分かった。
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	29	11	1	0	4	2	1	0	・昨年度の反省を生かし、ホームページを多く更新できるように努めた。 *保護者へ子どもの育ちをどのように伝えていくのか、今後検討し、実践していきたい。
	⑩幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	31	10	0	0	6	1	0	0	*クラスだよりや園長だよりなど、配布物の文字数やレイアウトを考え、伝えたいことを明確に、分かりやすく書くための工夫が必要である。クラスだより、園長だよりを来年度は多く発行できるように努めたい。
環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	38	3	0	0	7	0	0	0	・毎月、施設、設備などの安全点検を行い、気になるところは対応している。安全に配慮していることが、保護者に広く周知され始めたのではないかと思います。
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	33	8	0	0	7	0	0	0	*今年度は非常変災があり、学校園連絡メールで速やかに対応していた。今後も他園や関係機関との連携を図りながら、保護者が不安にならないように速やかに対応していきたい。
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	38	3	0	0	7	0	0	0	
	⑭幼稚園は保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	29	11	0	1	6	1	0	0	

※「アンケートのまとめについて（保護者配布プリント）」添付

#### 4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 平成31年3月7日  
 ○評価委員会参加者 学校評議員 川西北小学校長  
 萩原自治会長  
 川西北幼稚園 職員 3名

#### ○内容

- ・年間の取り組みについて（特に前回評議員会後の教育活動について）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

	項目	評価委員会				・評価 *今後の方策
		A	B	C	D	
保育内容・研究推進	① わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いが出せたり、嫌なことを言えたりできるようになっていることが望ましい。</li> <li>・幼稚園は丁寧に子どもや保護者にかかわっている。その結果が評価に出ている。</li> <li>・保護者と教師の評価が似てくる。そこを意識して、子どもや保護者とかわり、幼稚園を運営していかなければならない。</li> <li>・小学校も遊具の怪我が多い。安全に遊べる指導の徹底と、怪我が起きた時の事後対応を迅速、丁寧に行うようにする。</li> </ul>
	② わが子は、学級に気の合う友達がいる	0	0	0	0	
	③幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	2	0	0	0	
	④わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	1	0	0	0	
	⑤わが子は、自分の考えを相手に伝えようとするようになってきている	1	0	0	0	
	⑥わが子は、友達を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育ってきている	1	0	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、小学校や中学校、保育所などの学校間交流や地域交流をよく行っている	2	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畑や土を触るという経験ができているのは大変よいことである</li> <li>*子どもが自己発揮できるように、教師は援助や環境構成を整えていくことが大切である。小学校でも課題になっている。</li> <li>*今後も安全点検を引き続き行い、子どもの状況を見て、遊具の遊び方や設置について検討していく。</li> </ul>
	⑧幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	2	0	0	0	
	⑨保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じることができる	2	0	0	0	
	⑩幼稚園は、相談に誠実に対応している	1	0	0	0	

環境整備・安全管理	⑪幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	2	0	0	0
	⑫幼稚園は、施設、遊具の安全に努めている	2	0	0	0
	⑬幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	2	0	0	0
	⑭幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	1	0	0	0

○学校園関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○運動会、音楽会、生活発表会などを参観していただき、子どもの姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果を公表し、前年度の課題を受けて今年度に重点的に取り組んできた教育活動を説明した。来年度に向けた課題や方策について示唆を頂くことができた。